

2024年3月期第2四半期

決算説明会

2023年10月30日

SBテクノロジー株式会社

証券コード 4726

1. 業績概況	P. 2
2. 中期経営計画の進捗	P. 9
3. 決算添付資料	P. 18
4. 会社情報	P. 34

業績概況

SB Technology

FY23
H1業績

公共・エンタープライズにおける増収で売上高はH1として過去最高
通信での投資抑制影響、採用強化などにより営業利益は横ばい

受注
状況

通信領域の影響などによりQ2受注高は前期比▲16億円減少したものの
9月末受注残高としては過去最高の303億円

通期
見通し

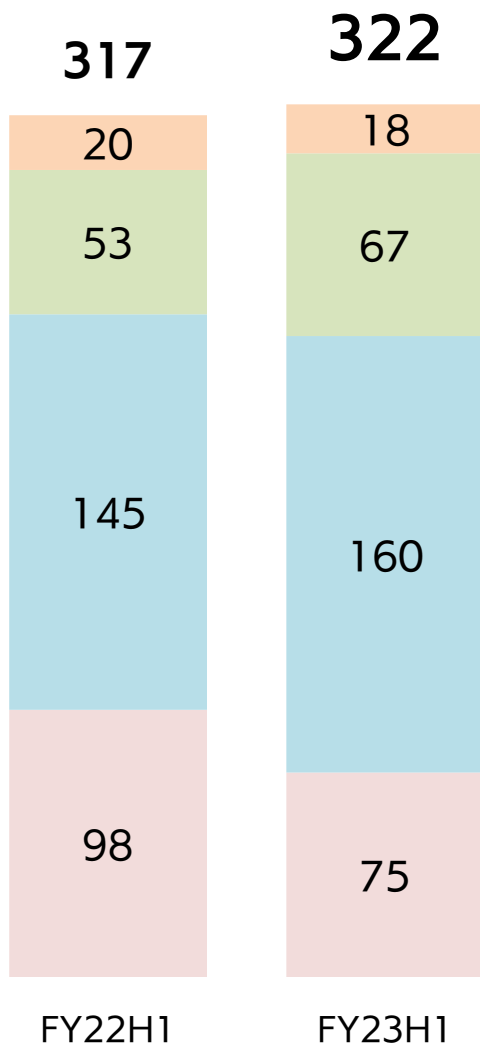
通期業績予想 売上高 680億円 営業利益 59億円に向け順調に進捗
フォントワークス(株)の株式等の譲渡影響を織り込んだ業績予想から
変更はなし

- 公共・エンタープライズが伸長するも、通信の投資抑制影響や販管費増により営業利益は横ばい
- フォントワークス(株)の株式等譲渡に伴う費用や売却益を計上、純利益は49億円の増益

	百万円 (利益率)	FY23H1	FY22H1	増減額	増減率
売上高		過去最高 32,206	31,706	+499	+1.6%
営業利益		過去最高 2,282 (7.1%)	2,270 (7.2%)	+12	+0.6%
経常利益		2,182 (6.8%)	2,222 (7.0%)	▲40	▲1.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		過去最高 6,272 (19.5%)	1,346 (4.2%)	+4,926	+365.9%
EBITDA ※		過去最高 3,156	3,093	+63	+2.1%

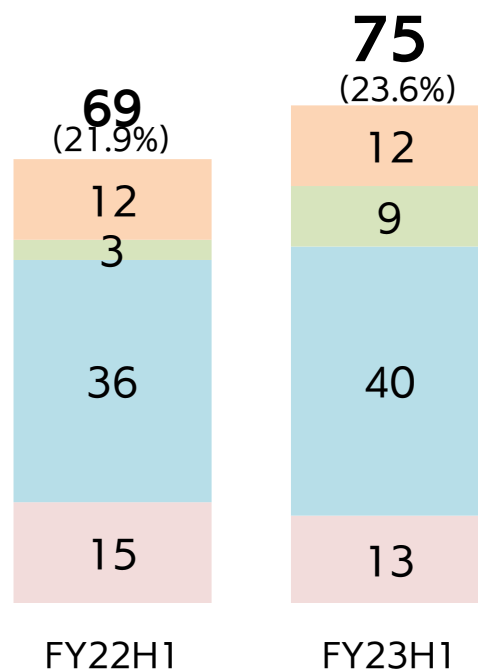
※EBITDA = 営業利益 + のれん償却額（販管費） + 減価償却費

売上高



売上総利益

億円
(利益率)



個人： 減収・利益横ばい

- (株)ノートンライフロックとの契約変更影響があったものの、概ね期初想定どおりに進捗

公共： 増収・増益

- 農林水産省向けや自治体情報SC※1の運用案件が順調に進み、利益率も改善

エンタープライズ： 増収・増益

- 注力顧客グループへのクラウド案件が堅調に推移
- MSS※2の売上はYoY1.5倍で成長を継続

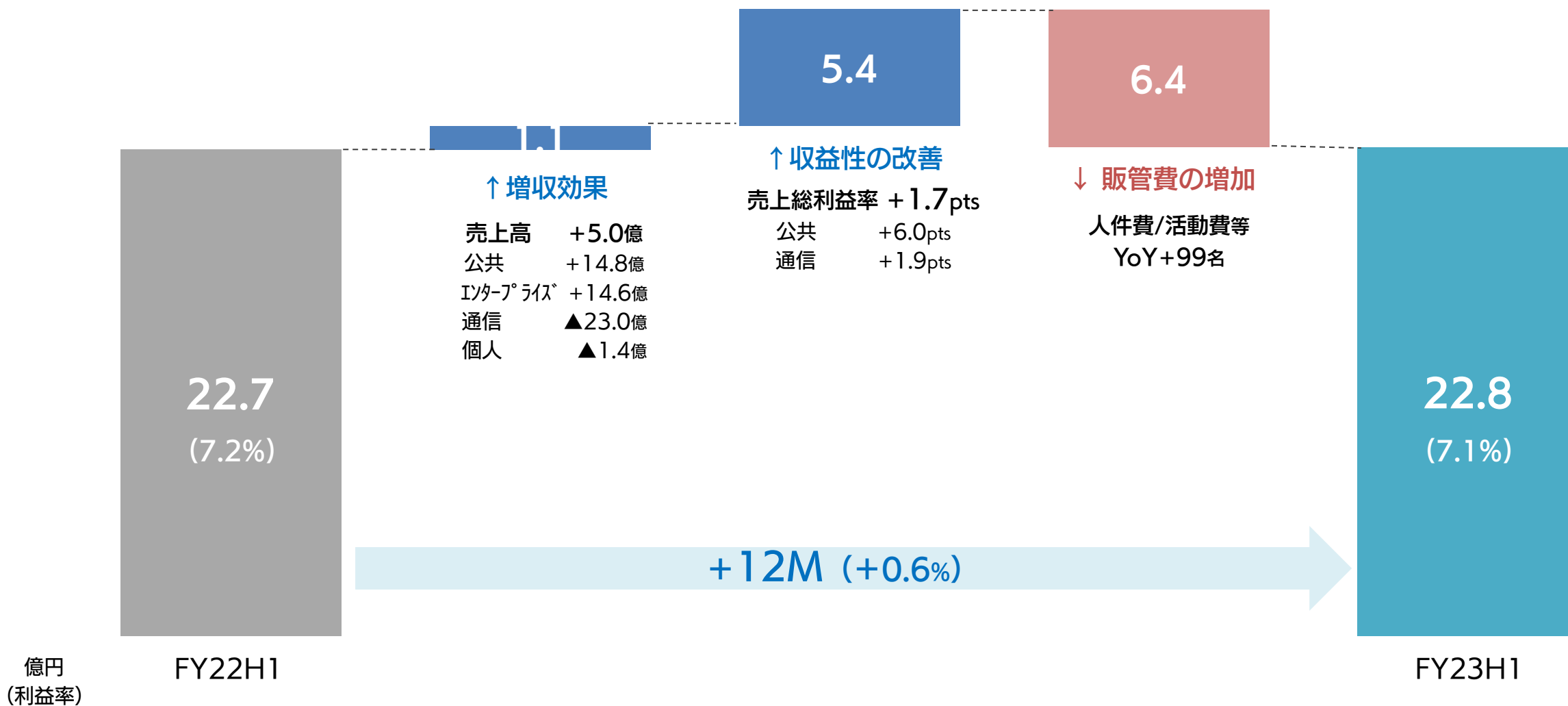
通信： 減収・減益

- ベンダーマネジメント案件の減少や投資抑制影響により減収したものの、効率化が進み利益率は改善

※1：セキュリティクラウドの略

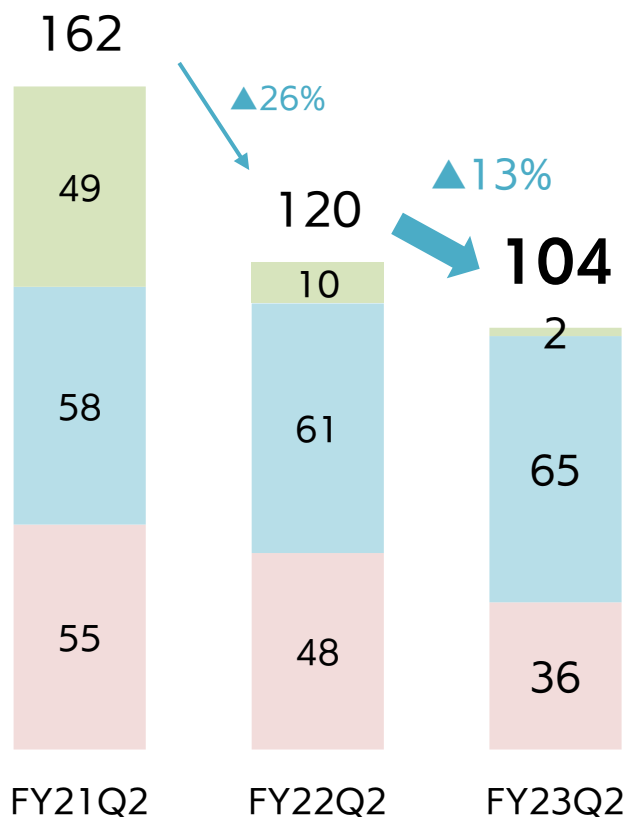
※2：マネージドセキュリティサービスの略

- 公共や通信の収益性が改善し、売上総利益率は+1.7ポイント
- 採用やリソースの強化に伴い販管費が増加、営業利益は前年横ばい

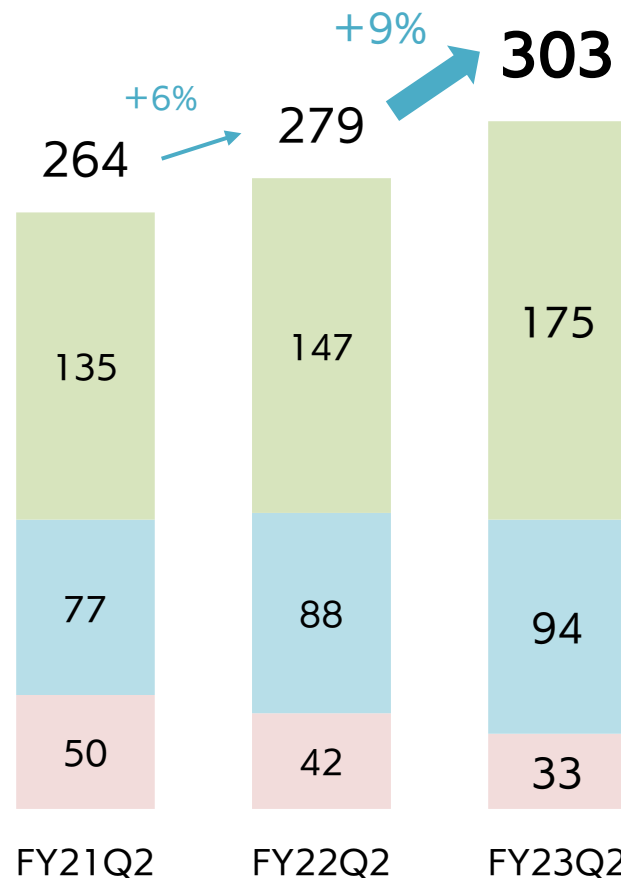


受注高

億円
 ■ 公共
 ■ エンタープライズ
 ■ 通信



受注残高



単体受注残高
(YoY)

24億円増

FY23Q2 主な受注状況

- エンタープライズ：業務効率化ソリューションの開発案件などが増加
- 通信：社内システムの定常開発やベンダーマネジメント案件が減少
- 受注残高のうち約6割がFY23売上予定

- フォントワークス(株)の株式等譲渡影響を織り込んだ業績予想から変更なし
- 自社サービスの伸長や品質改善・生産性向上により収益性の改善を目指す

		百万円 (利益率)	FY23業績予想 (’23/7/19修正)	FY23H1	進捗率	FY22	前期実績比
売上高			68,000	32,206	47.4%	67,227	47.9%
	通信		16,300	7,515	46.1%	19,575	38.4%
	エンタープライズ		35,400	16,020	45.3%	30,356	52.8%
	公共		14,000	6,779	48.4%	13,224	51.3%
	個人		2,300	1,890	82.2%	4,070	46.4%
営業利益			5,900 (8.7%)	2,282 (7.1%)	38.7%	5,557 (8.3%)	41.1%
経常利益			5,750 (8.5%)	2,182 (6.8%)	38.0%	5,499 (8.2%)	39.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益			8,200 (12.1%)	6,272 (19.5%)	76.5%	3,497 (5.2%)	179.4%

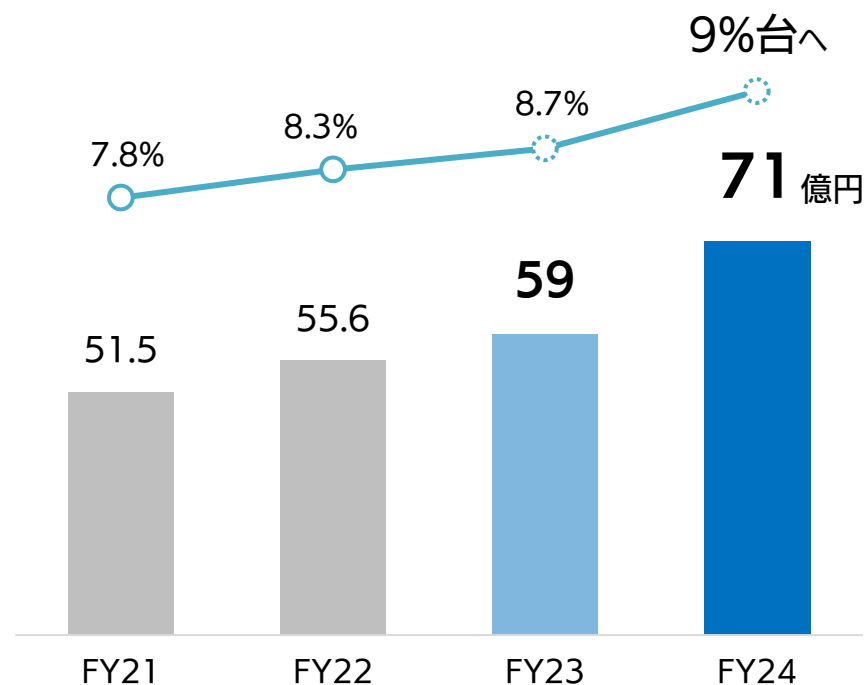
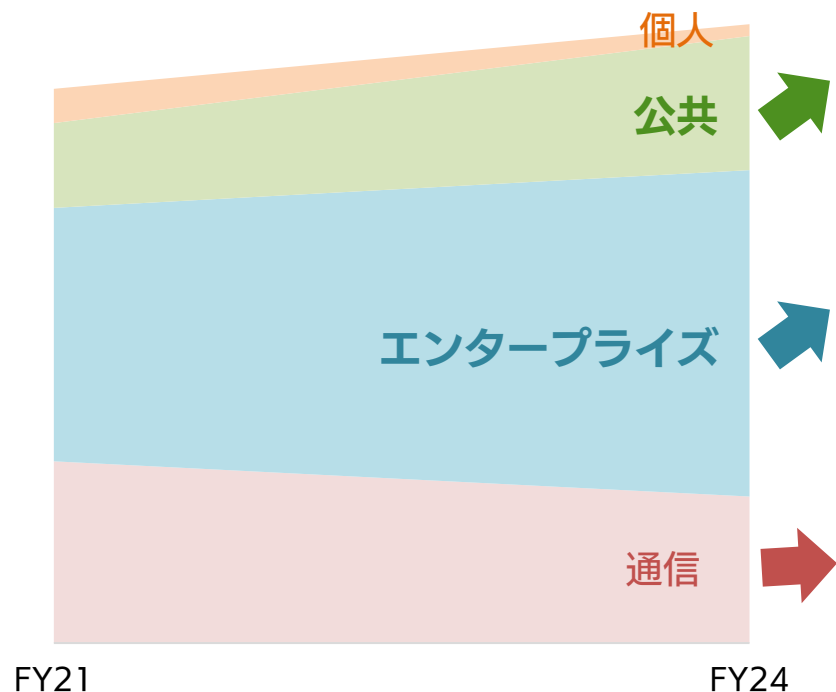
中期経営計画の進捗

第4次中期経営計画（FY22～FY24）

＝ SB Technology

FY24 経営指標

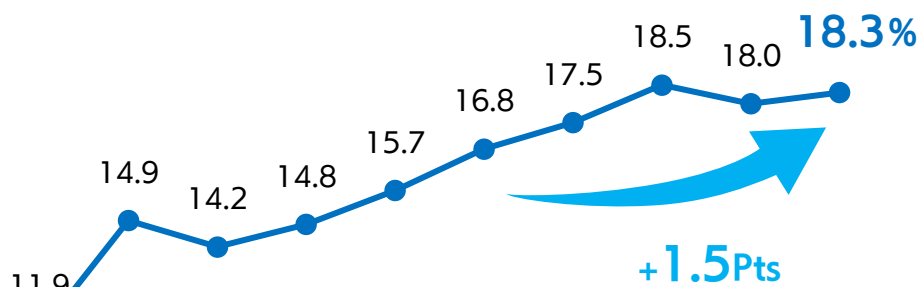
- 1. 営業利益 71億円*
- 2. 営業利益率 9%台
- 3. クラウド・セキュリティ&サービス売上高 500億円超



エンタープライズ・公共の伸びにより、営業利益 71億円 / 営業利益率 9%台 を目指す

*子会社株式の譲渡に伴い80→71億円に修正済 (2023/7/27)

売上総利益率の推移



Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
FY21				FY22				FY23	

利益率改善の取り組み

ベンダーマネジメント案件からのシフト

高付加価値
案件への
シフト

ベンダー
マネジメント案件
売上高構成比

FY22H1
40%



FY23H1
30%

構成比の影響により
利益率は改善

オフショア
活用

オフショア活用状況

1Q末

2Q末



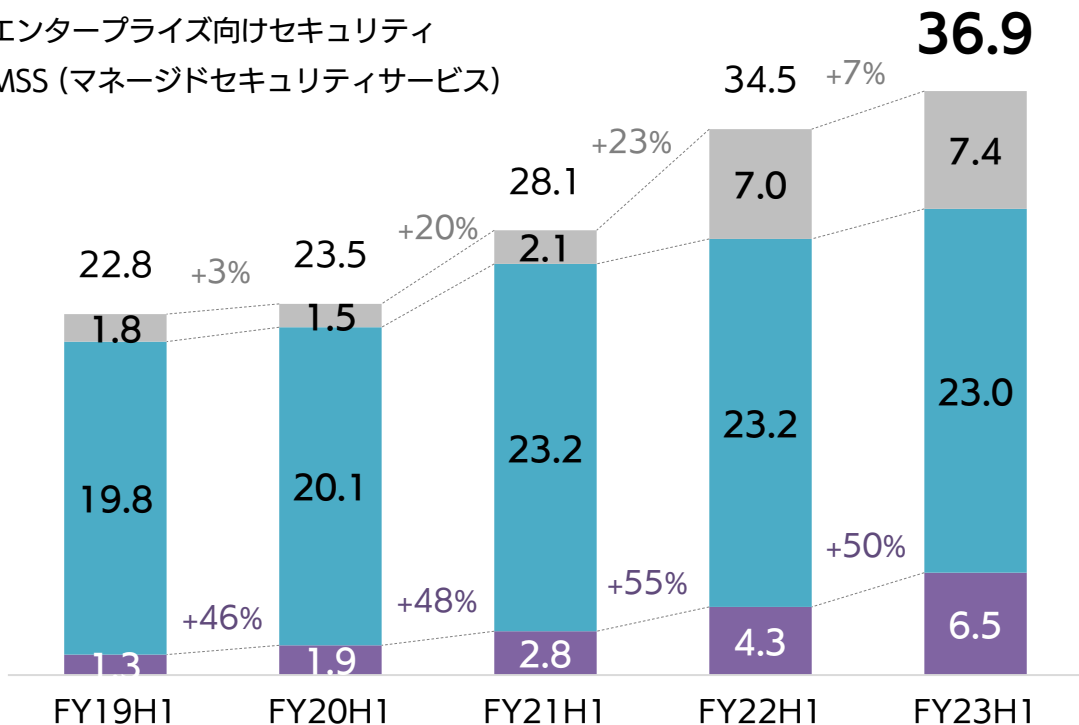
オフショア
活用領域は順調に
拡大

利益率改善に向け高付加価値案件やオフショア活用領域が拡大し、
売上総利益率は着実に改善傾向

SBT単体セキュリティ事業 売上高推移

(億円)

- 自治体情報セキュリティクラウド
- エンタープライズ向けセキュリティ
- MSS (マネージドセキュリティサービス)



セキュリティビジネスに対する投資

セキュリティアナリストの育成



FY22 H1時点 **80名** → +20名 → FY23 H1時点 **100名**

採用・育成が順調に進み
アナリストが増加

サービス拡充への投資



平時の
セキュリティ対応

- MSS for 脆弱性管理 (VRM)
- クラウドパトロール

セキュリティ
監視

- MSS for Microsoft Sentinel Advanced

**注力の自社サービスであるMSSは毎年約150%成長と成長率を維持
今後の成長拡大に向けて人材・サービス開発に対する積極的な投資を実施**

DailyAI

（デイリーエアイ）

第1弾

手持ちデータ
（マイデータ活用プラン）



ニーズに合わせた
インターフェース



リリース
予定

社内データ
（社内データ検索プラン）



サービスの主な特長

手元資料を
生成AIで
指示

- Webブラウザから分析対象のファイルをアップロードし利用
- 定期的なアンケート結果など、複数のファイルを横断した分析が可能

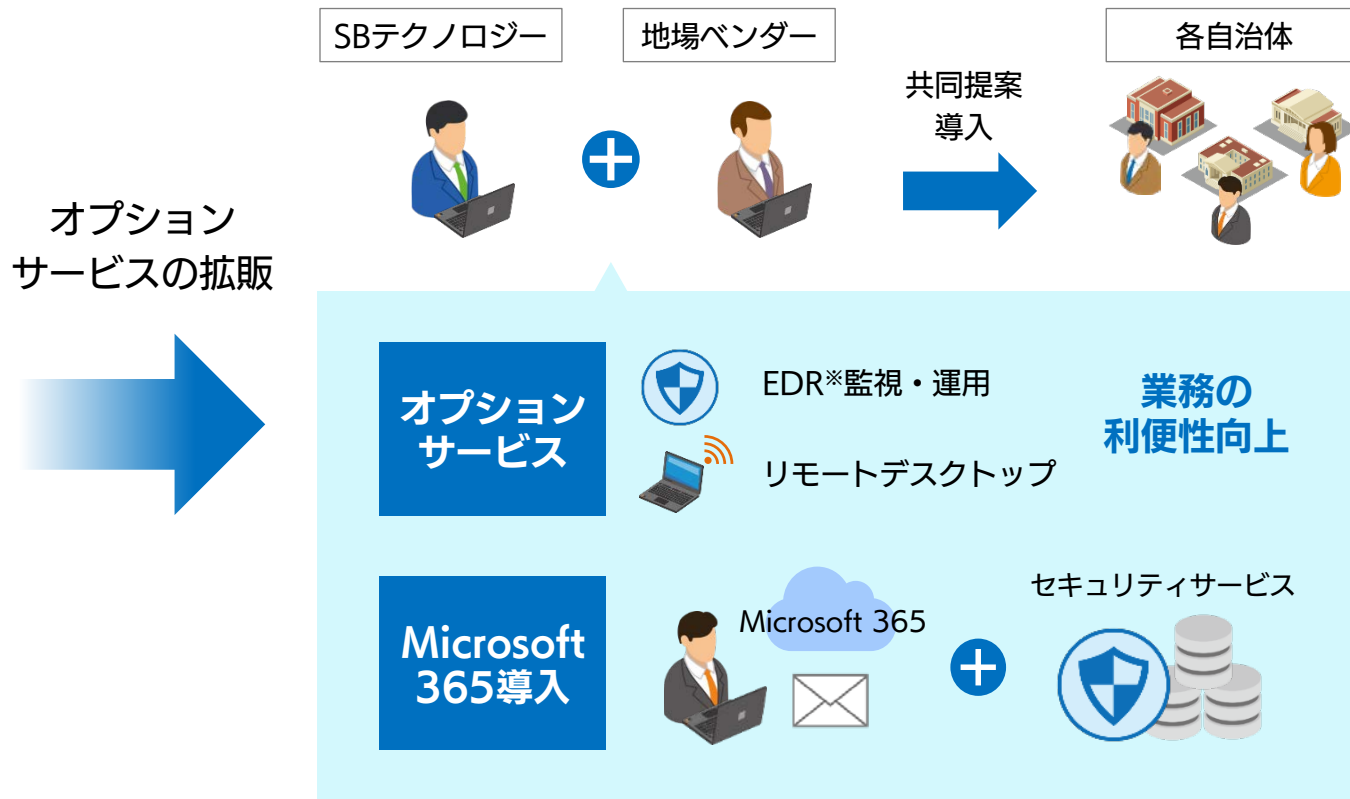
セキュリティ
機能が豊富

- お客様専用のプラットフォームとして提供
- 入力した文書は生成AIに学習されない
- 利用のログ管理機能の提供

コスト
コントロール

- ユーザー数ではなくトークン数ベースの課金のため、従業員数の多い企業や組織に低コストで導入可能（1億トークン10万円～）
- トークン量に上限を設ける機能により、想定外の高額請求を防ぐ機能の提供

お客様とのPoCを通じて手持ちデータを活用する生成AIサービスである「DailyAI マイデータ活用プラン」を第1弾としてリリース



情報セキュリティクラウド導入時に構築した地場ベンダーとのリレーションを活用し、オプションサービスの提案・導入に関しても共同で活動

	2022年	2023年
Sustainalytics (ESG Risk Rating)	28.0 Medium Risk	19.9 Low Risk
FTSE (ESGスコア)	3.0	3.6

- ESG（環境・社会・ガバナンス）観点から評価が高い日本企業の株式で構成される株価指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初めて選定
- 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」においても、昨年から2年連続で選定



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index
(2022年4月～)



FTSE Blossom
Japan Index
(2023年7月～)

サステナビリティへの取り組みについて継続的に活動を行い、
その結果外部評価も改善傾向

1. 営業利益 71億円※

2. 営業利益率 9%台

3. クラウド・セキュリティ&サービス
売上高 500億円超

情報革命で人々を幸せに

～ 技術の力で、未来をつくる ～

＝ SB Technology

決算添付資料


＝ SB Technology

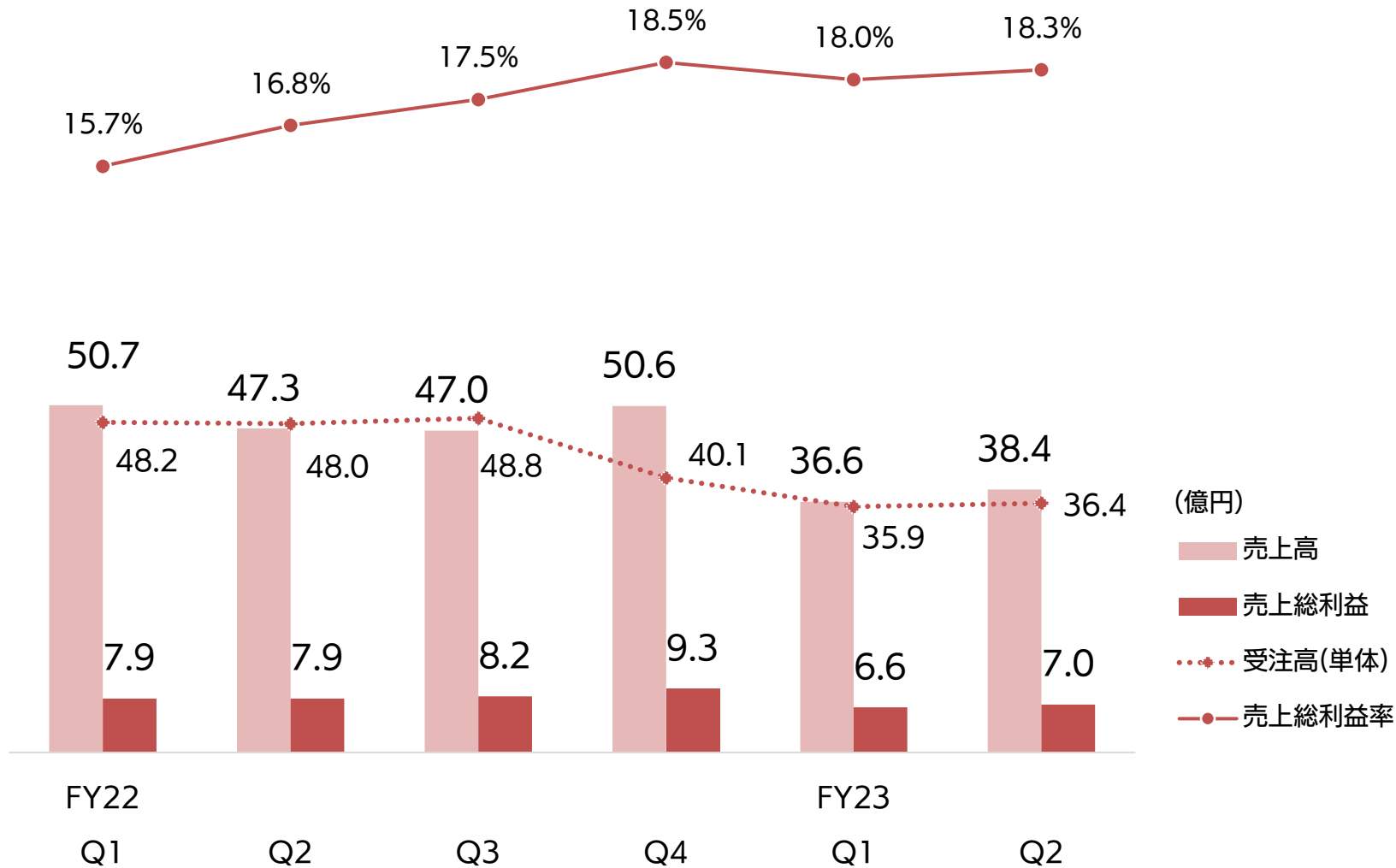
- 公共・エンタープライズが伸長、採用強化に伴う費用増をこなし営業利益は40百万円増益
- フォントワークス(株)の株式等譲渡に伴う費用や売却益を計上、純利益は50億円の増益

	百万円 (利益率)	FY23Q2	FY22Q2	増減額	増減率
売上高		過去最高 16,247	16,145	+101	+0.6%
営業利益		過去最高 1,225 (7.5%)	1,184 (7.3%)	+40	+3.4%
経常利益		1,127 (6.9%)	1,152 (7.1%)	▲25	▲2.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		過去最高 5,767 (35.5%)	699 (4.3%)	+5,067	+724.4%
EBITDA ※		過去最高 1,651	1,599	+52	+3.3%

※EBITDA = 営業利益 + のれん償却額 (販管費) + 減価償却費

2023年3月期より、事業ポートフォリオの変革の様子や
 当社業績と外部環境・他社との比較がわかりやすくなるよう以下のとおり変更いたしました

	マーケット区分	ソリューション区分	利益指標
FY22以降	通信 エンタープライズ 公共 個人	クラウドソリューション セキュリティソリューション テクニカルソリューション 機器・ライセンス	売上総利益
			
FY21まで	SBグループ 法人/公共 個人	ビジネスITソリューション コーポレートITソリューション テクニカルソリューション ECソリューション	限界利益



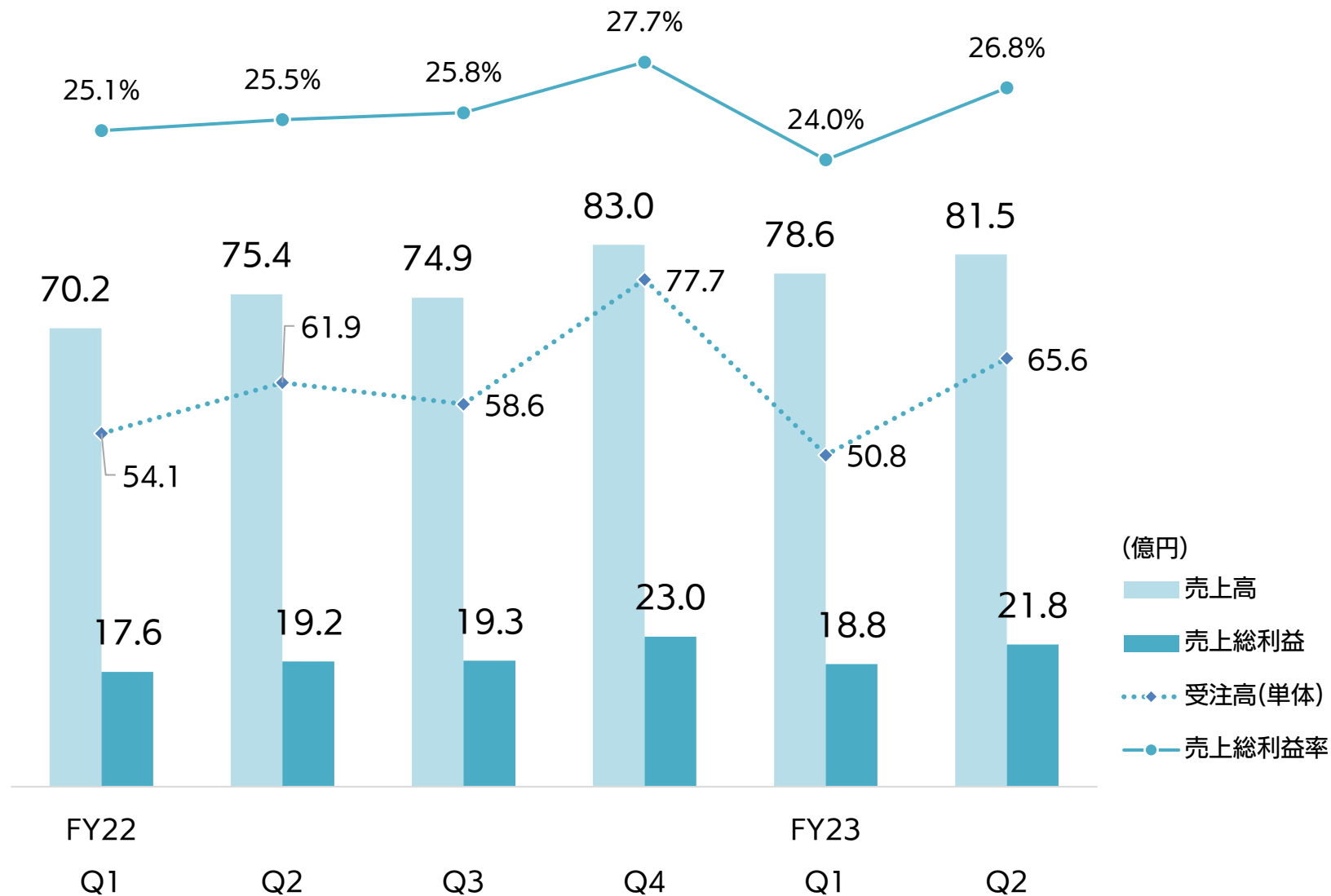
通信 (前年同期比)

受注高 (単体)

- ベンダーマネジメント案件の戦略的絞り込みや、オンプレミスでの社内システム開発・運用が減少

売上高/売上総利益

- ベンダーマネジメント案件や投資抑制の影響により期初想定通り減収
- 効率化が進み利益率が向上



エンタープライズ (前年同期比)

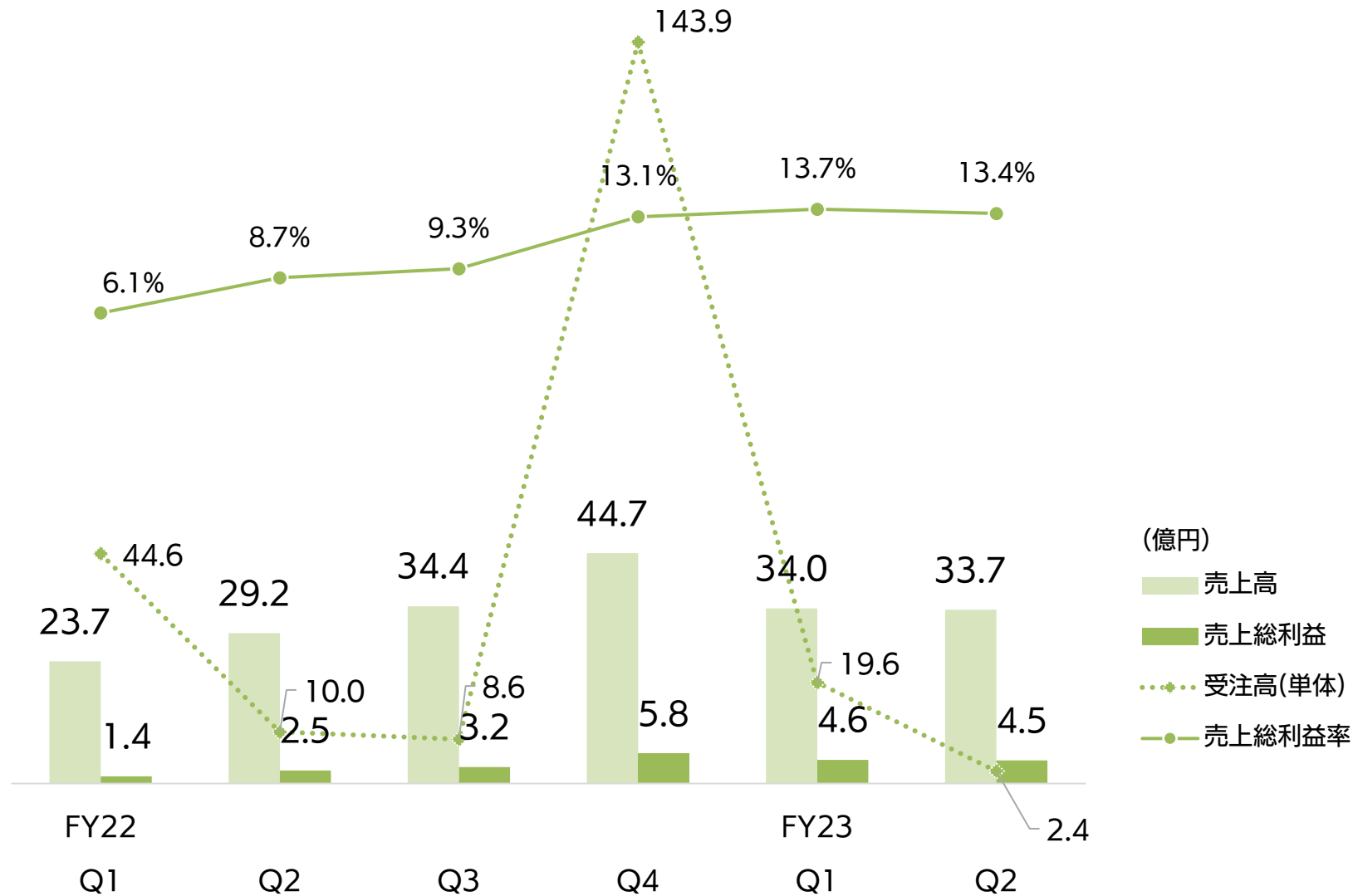
受注高 (単体)

- 業務効率化ソリューションの開発やライセンス販売が増加

売上高/売上総利益

- 品質管理の向上により主に注力顧客向けのクラウド開発案件の利益率が改善
- MSS※売上高はYoY約1.5倍と順調に成長

※：マネージドセキュリティサービスの略



公共（前年同期比）

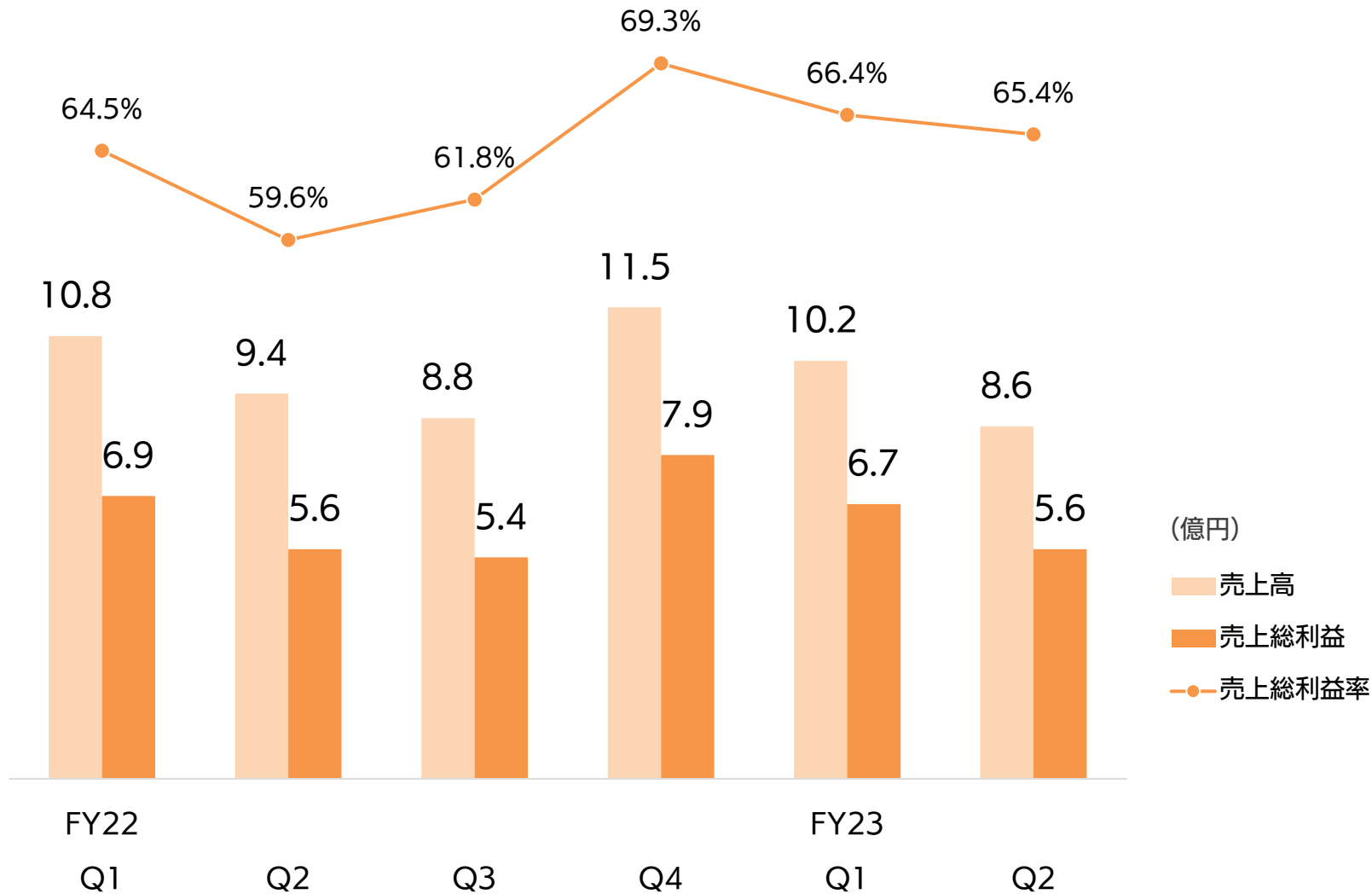
受注高（単体）

- 来期予算の獲得を見据え、下期の受注に向けた活動に注力

売上高/売上総利益

- 農林水産省向け電子申請案件や自治体情報SC※が運用フェーズへ移行し、利益率も改善

※：セキュリティクラウドの略



個人 (前年同期比)

売上高/売上総利益

- ノートンストアは計画通り契約変更の影響により減収・減益となるも、フォントワークス(株)の増益により売上総利益はYoYで横ばい

※フォントワークス(株)はQ3以降連結対象外

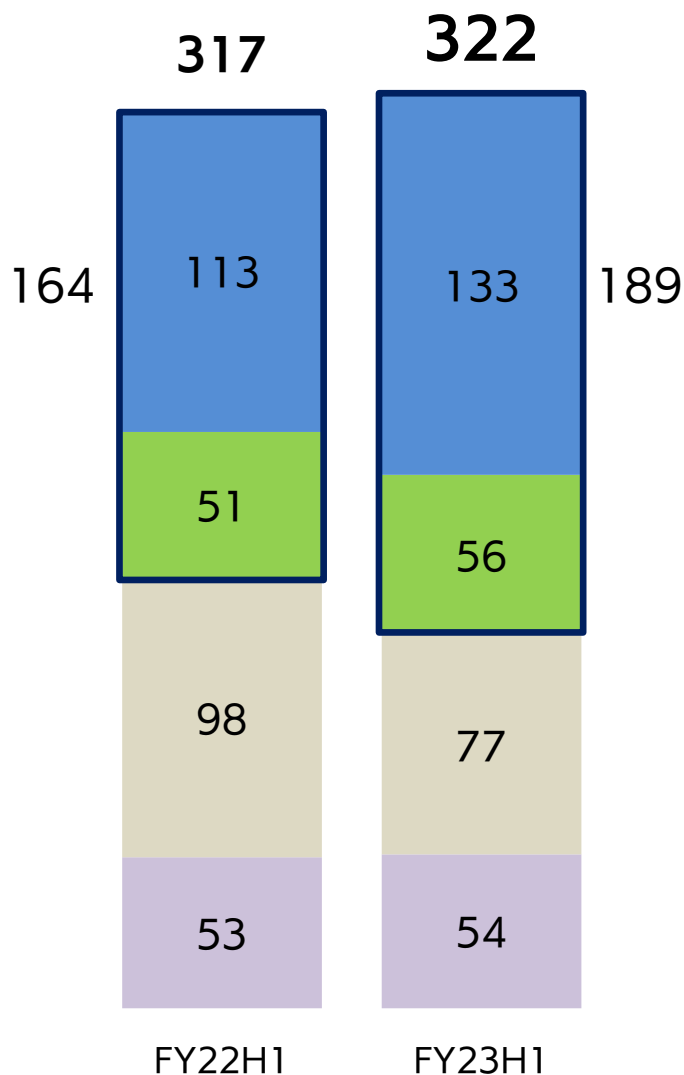
		FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	FY23Q1	FY23Q2	前年同期比	
									増減額	増減率
連結業績 (百万円)	売上高	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	15,958	16,247	+101	+0.6%
	売上総利益	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	3,693	3,904	+366	+10.4%
	利益率	21.9%	21.9%	21.9%	24.3%	22.6%	23.1%	24.0%	+2.1pt	-
通信	売上高	5,079	4,731	4,701	5,062	19,575	3,669	3,846	▲885	▲18.7%
	売上総利益	797	794	821	935	3,348	660	702	▲91	▲11.5%
	利益率	15.7%	16.8%	17.5%	18.5%	17.1%	18.0%	18.3%	+1.5pt	-
エンタープライズ	売上高	7,021	7,540	7,493	8,300	30,356	7,862	8,158	+617	+8.2%
	売上総利益	1,764	1,925	1,933	2,302	7,926	1,887	2,183	+257	+13.4%
	利益率	25.1%	25.5%	25.8%	27.7%	26.1%	24.0%	26.8%	+1.3pt	-
公共	売上高	2,374	2,927	3,442	4,478	13,224	3,403	3,376	+448	+15.3%
	売上総利益	145	254	321	587	1,309	465	451	+197	+77.5%
	利益率	6.1%	8.7%	9.3%	13.1%	9.9%	13.7%	13.4%	+4.7pt	-
個人/ライセンス	売上高	1,084	946	886	1,153	4,070	1,023	867	▲79	▲8.4%
	売上総利益	699	563	547	799	2,610	679	566	+3	+0.6%
	利益率	64.5%	59.6%	61.8%	69.3%	64.1%	66.4%	65.4%	+5.8pt	-

※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

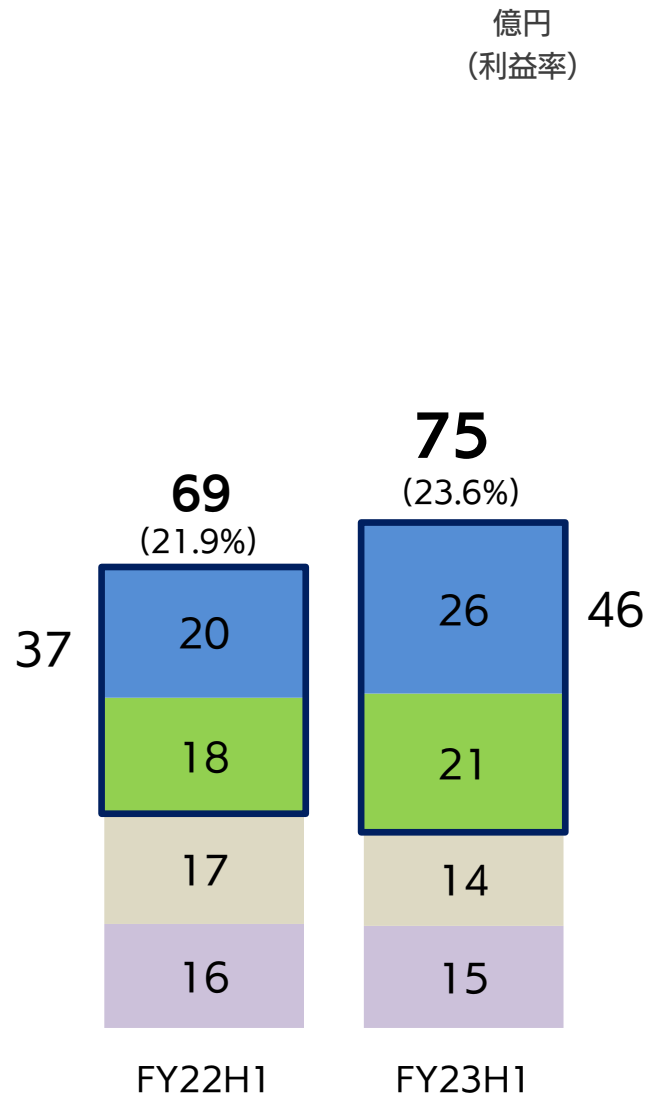
連結業績（百万円）	FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	FY23Q1	FY23Q2	前年同期比	
								増減額	増減率
売上高	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	15,958	16,247	+101	+0.6%
通信	5,079	4,731	4,701	5,062	19,575	3,669	3,846	▲885	▲18.7%
エンタープライズ	7,021	7,540	7,493	8,300	30,356	7,862	8,158	+617	+8.2%
公共	2,374	2,927	3,442	4,478	13,224	3,403	3,376	+448	+15.3%
個人/ライセンス	1,084	946	886	1,153	4,070	1,023	867	▲79	▲8.4%
売上原価	12,154	12,607	12,899	14,370	52,032	12,265	12,343	▲264	▲2.1%
売上総利益	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	3,693	3,904	+366	+10.4%
販売管理費	2,320	2,353	2,354	2,609	9,637	2,636	2,678	+325	+13.8%
営業利益	1,085	1,184	1,271	2,015	5,557	1,057	1,225	+40	+3.4%
営業外損益	▲15	▲32	▲4	▲5	▲58	▲2	▲98	▲65	-
経常利益	1,070	1,152	1,266	2,009	5,499	1,054	1,127	▲25	▲2.2%
特別損益	7	23	3	▲77	▲42	▲133	6,594	+6,570	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	646	699	762	1,388	3,497	505	5,767	+5,067	+724.4%
EBITA	1,494	1,599	1,685	2,438	7,217	1,505	1,651	+52	+3.3%
単体 受注残高	29,602	27,921	25,641	35,939	35,939	33,388	30,375	+2,454	+8.8%

※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

売上高



売上総利益



クラウドソリューション：増収・増益

- 農林水産省向けデジタル地図、共通申請の運用が伸長
- エンタープライズの注力顧客グループ向けクラウド開発も拡大

セキュリティソリューション：増収・増益

- エンタープライズ向けMSS※が好調に推移

テクニカルソリューション：減収・減益

- ベンダーマネジメント案件の減少や投資抑制により減収したものの、効率化が進み利益率は着実に改善

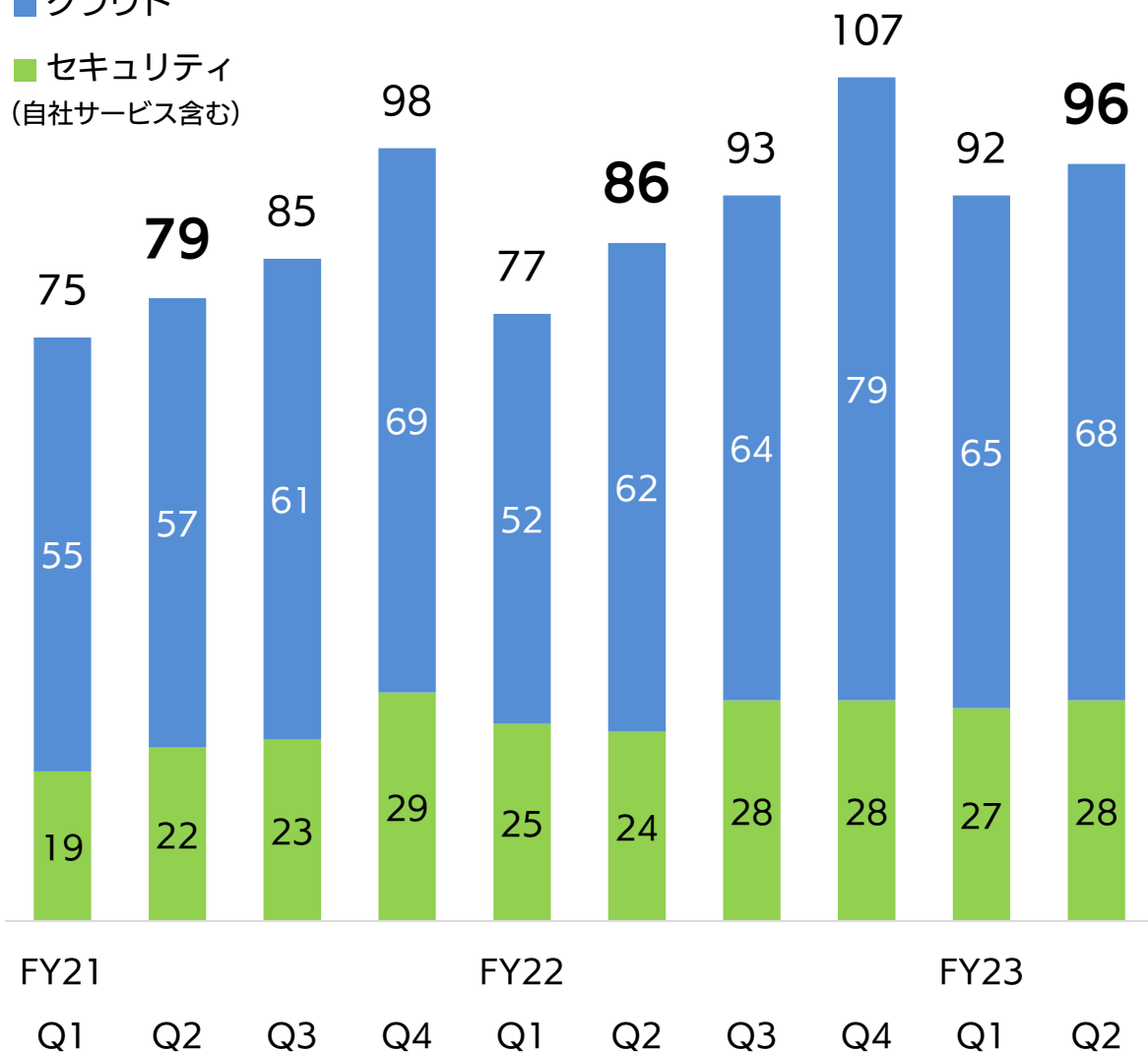
機器・ライセンス：増収・減益

- ライセンス販売については案件により選別しており、前年ほぼ横ばいで推移

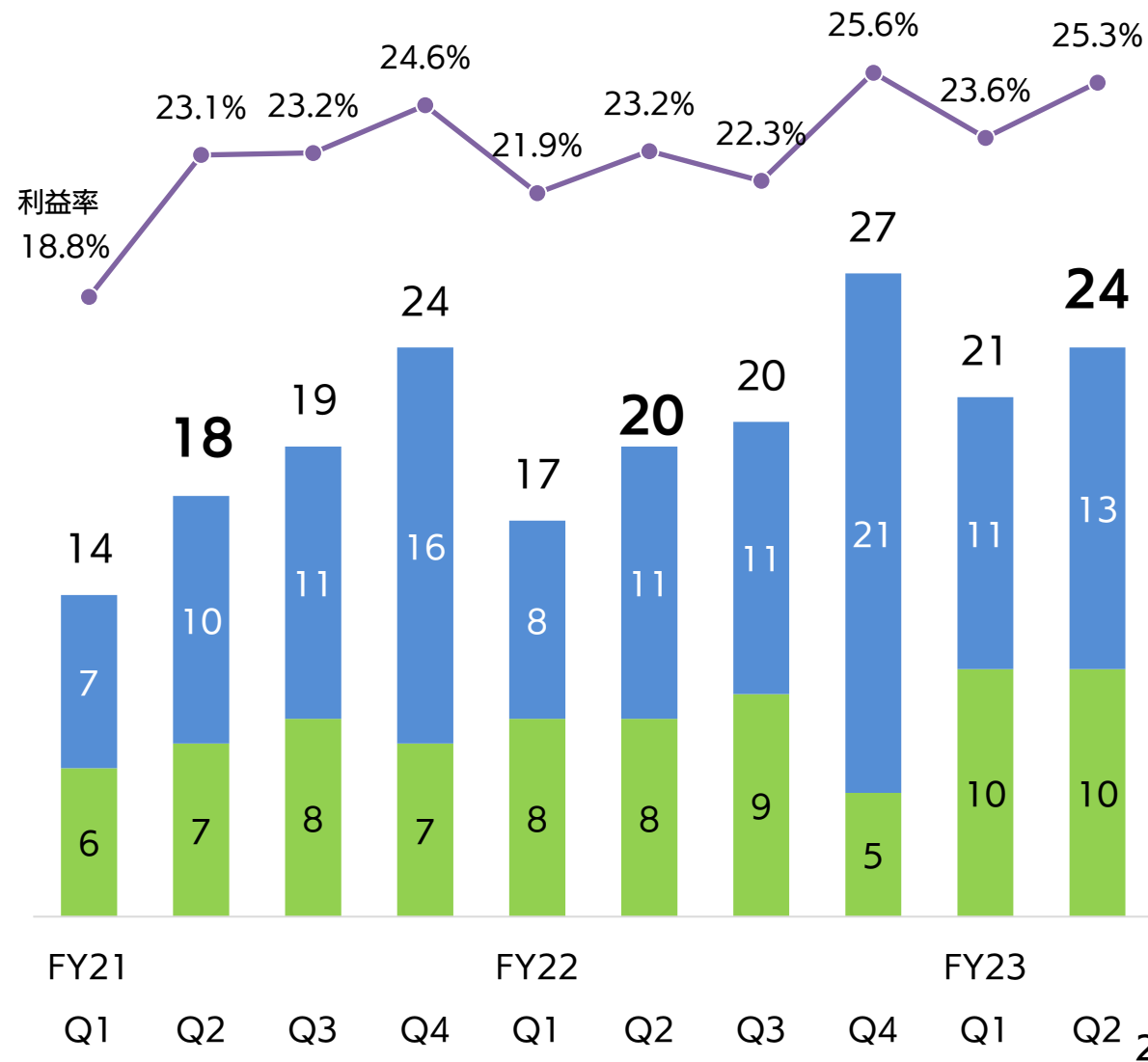
※：マネージドセキュリティサービスの略

億円
 ■クラウド
 ■セキュリティ
 (自社サービス含む)

売上高



売上総利益

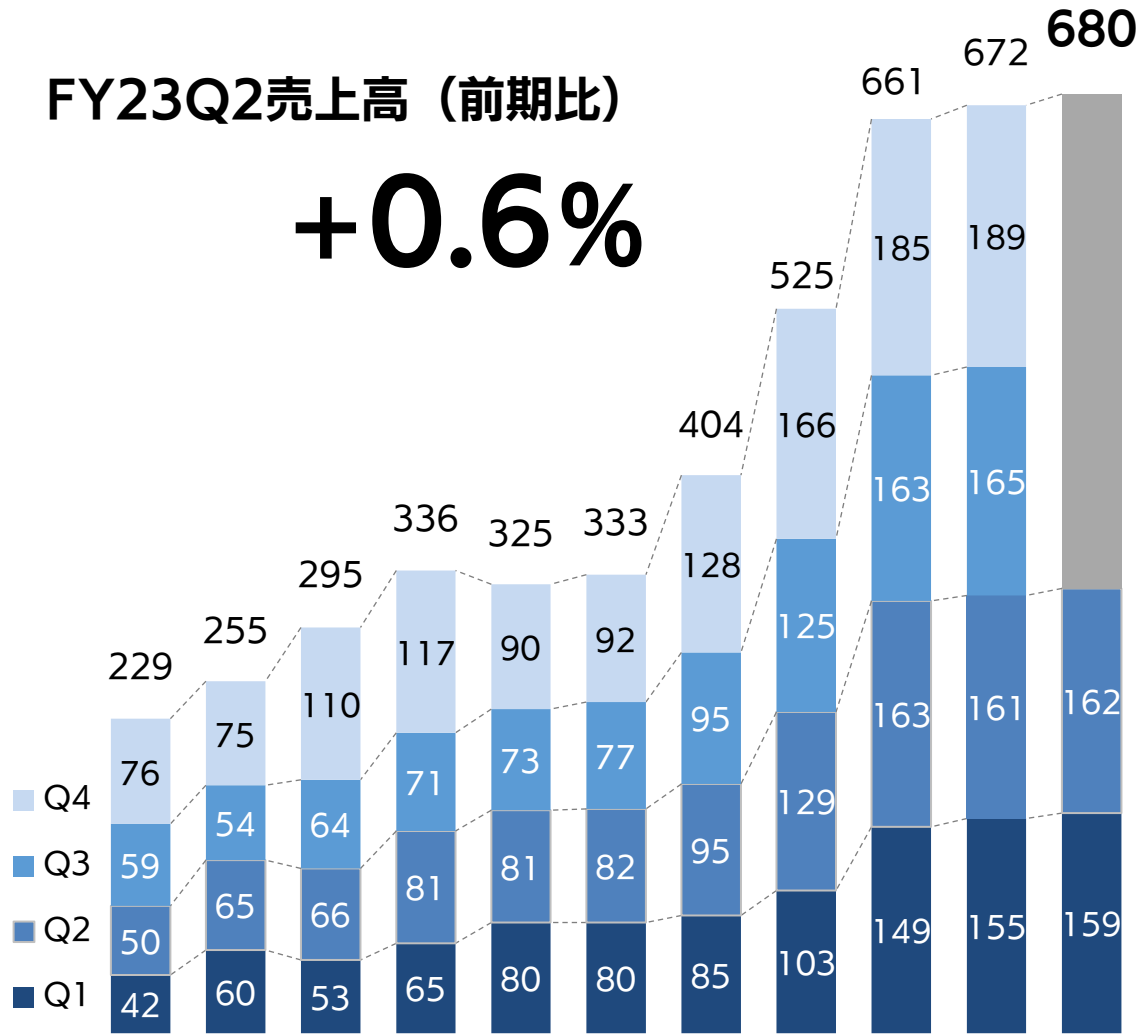


		FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	FY23Q1	FY23Q2	前期比	
									増減額	増減率
連結業績 (百万円)	売上高	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	15,958	16,247	+101	+0.6%
	売上総利益	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	3,693	3,904	+366	+10.4%
	利益率	21.9%	21.9%	21.9%	24.3%	22.6%	23.1%	24.0%	+2.1pt	-
クラウド	売上高	5,225	6,140	6,427	7,928	25,722	6,536	6,824	+683	+11.1%
	売上総利益	825	1,147	1,099	2,195	5,268	1,187	1,381	+234	+20.4%
	利益率	15.8%	18.7%	17.1%	27.7%	20.5%	18.2%	20.3%	+1.6pt	-
セキュリティ	売上高	2,566	2,551	2,903	2,818	10,840	2,758	2,853	+301	+11.8%
	売上総利益	883	870	981	555	3,290	1,007	1,065	+194	+22.3%
	利益率	34.4%	34.1%	33.8%	19.7%	30.4%	36.5%	37.3%	+3.2pt	-
テクニカル ソリューション	売上高	5,093	4,773	4,675	5,134	19,677	3,816	3,966	▲806	▲16.9%
	売上総利益	822	830	854	968	3,475	694	729	▲100	▲12.2%
	利益率	16.1%	17.4%	18.3%	18.9%	17.7%	18.2%	18.4%	+1.0pt	-
機器販売/ライセンス	売上高	2,674	2,679	2,518	3,114	10,987	2,847	2,603	▲76	▲2.9%
	売上総利益	874	689	690	907	3,160	804	727	+38	+5.6%
	利益率	32.7%	25.7%	27.4%	29.1%	28.8%	28.3%	28.0%	+2.3pt	-
経営指標 合計	売上高	7,792	8,692	9,330	10,747	36,562	9,294	9,677	+984	+11.3%
	売上総利益	1,709	2,018	2,081	2,750	8,558	2,194	2,447	+428	+21.2%
	利益率	21.9%	23.2%	22.3%	25.6%	23.4%	23.6%	25.3%	+2.1pt	-

※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

FY23Q2売上高 (前期比)

+0.6%

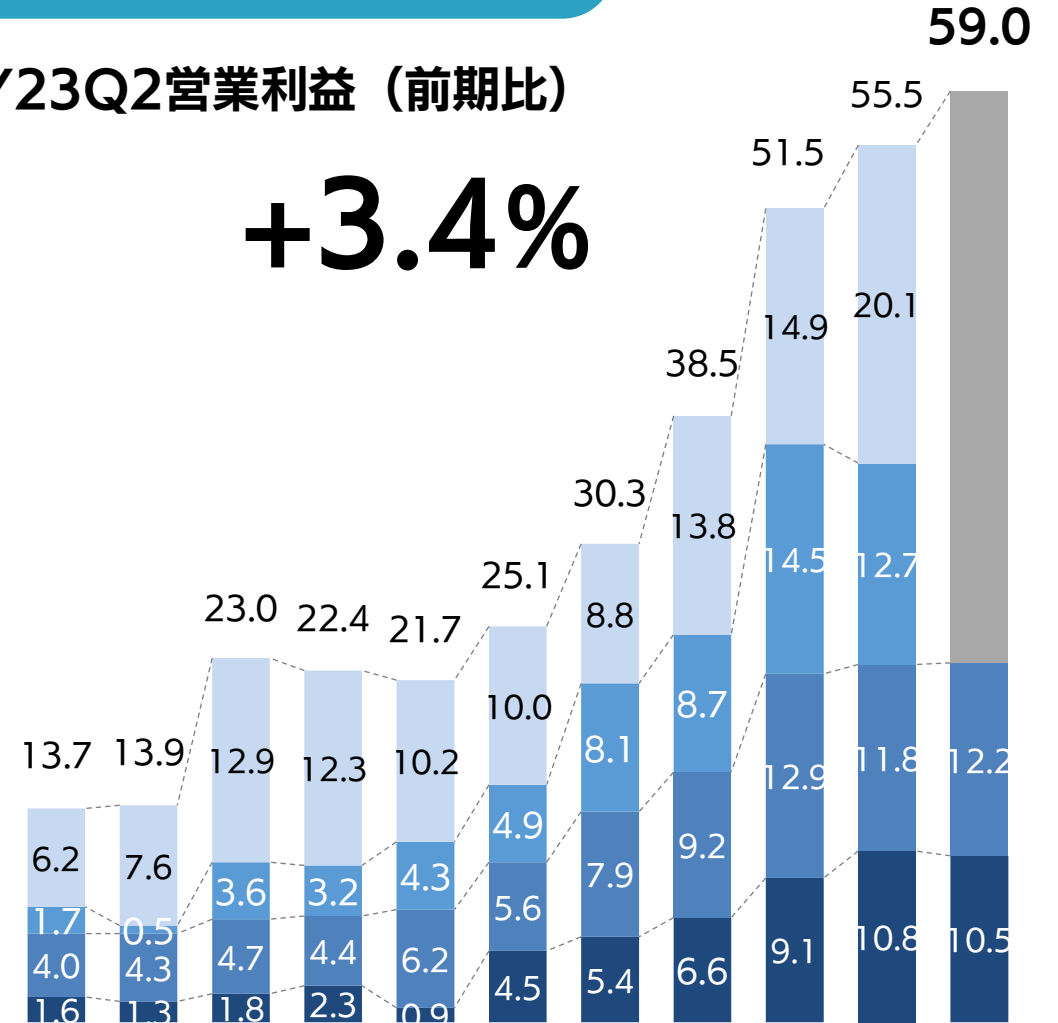


中計目標 営業利益71億円

(FY24連結営業利益)

FY23Q2営業利益 (前期比)

+3.4%



FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23

FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23

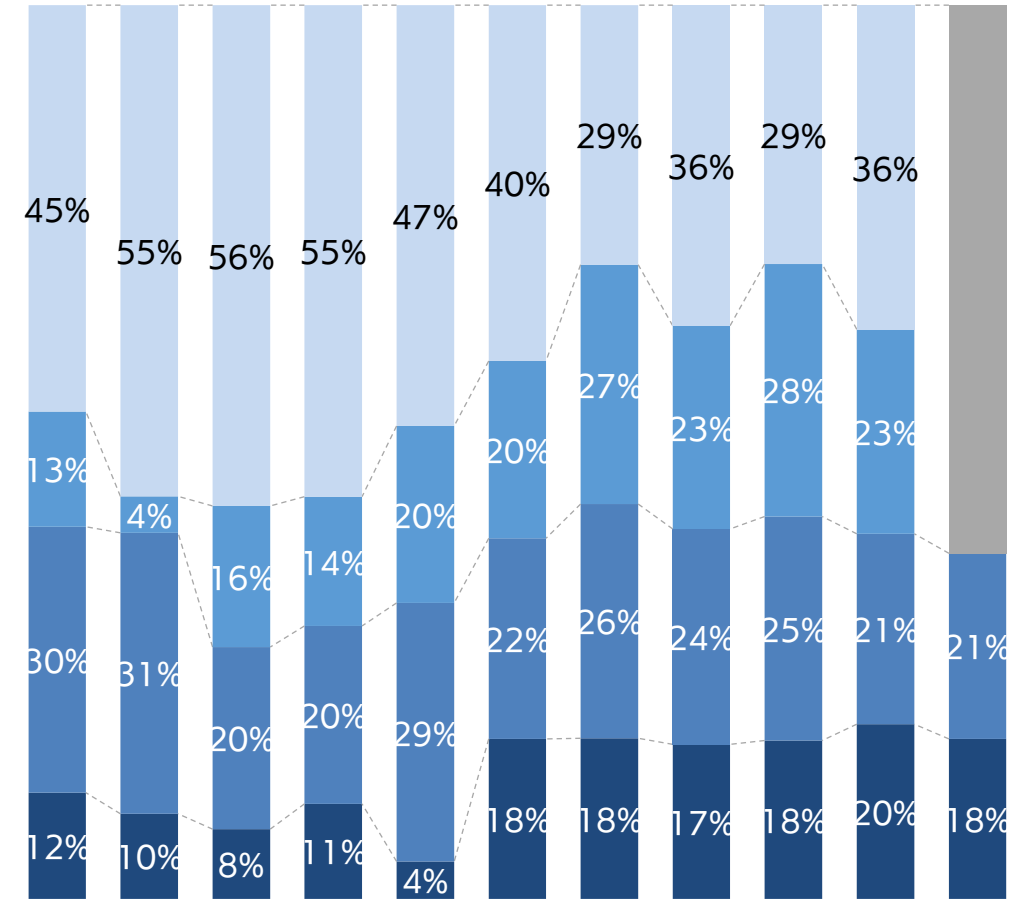
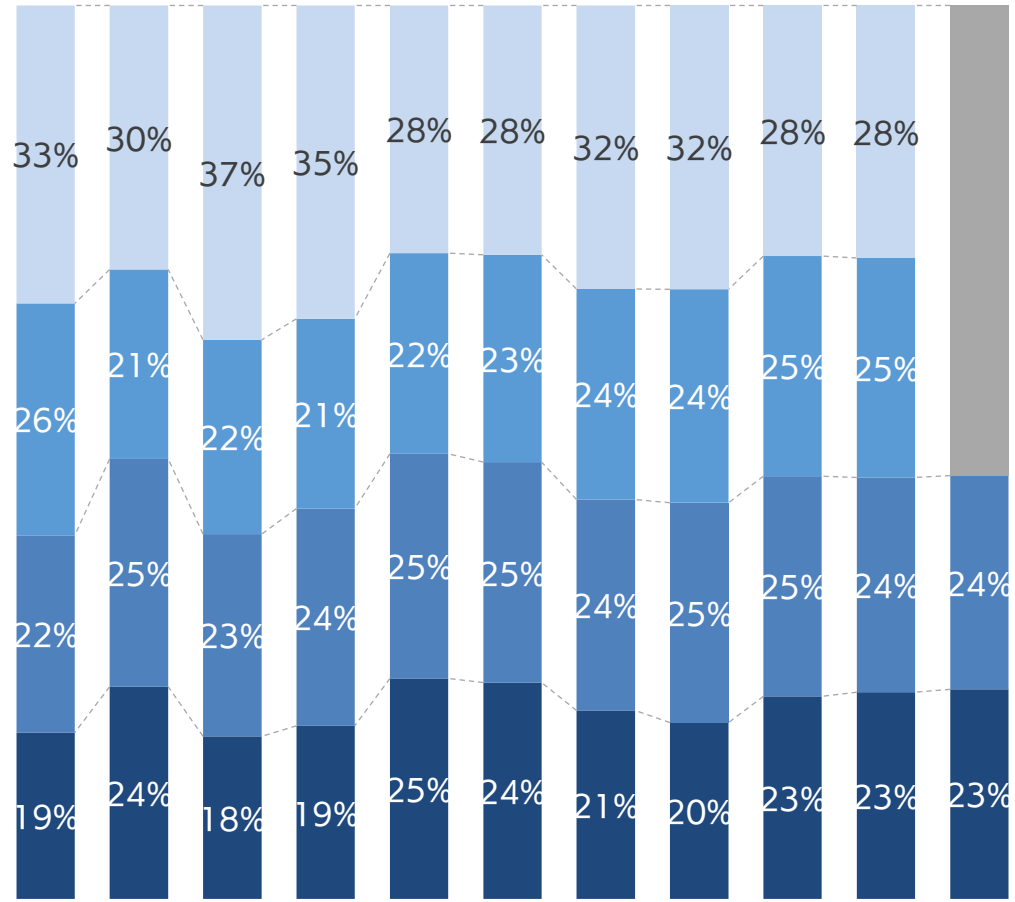
(億円)

※FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

売上高

営業利益

■ Q4 ■ Q3 ■ Q2 ■ Q1



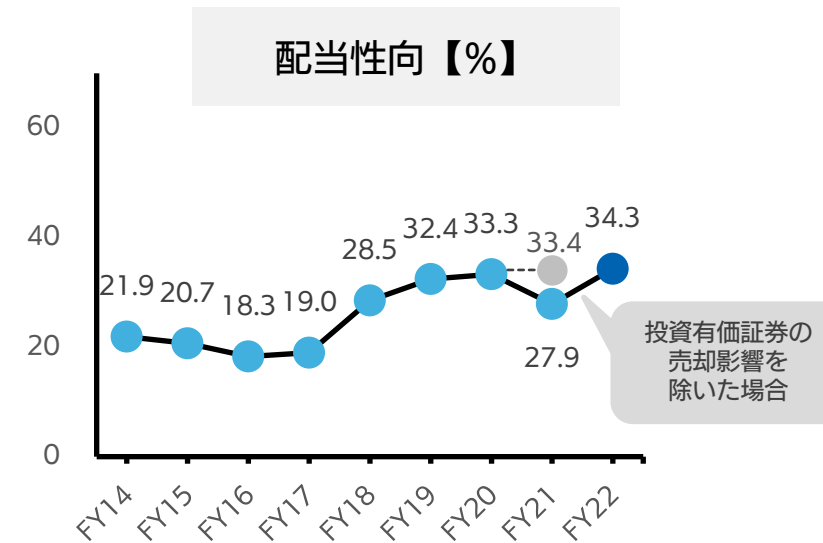
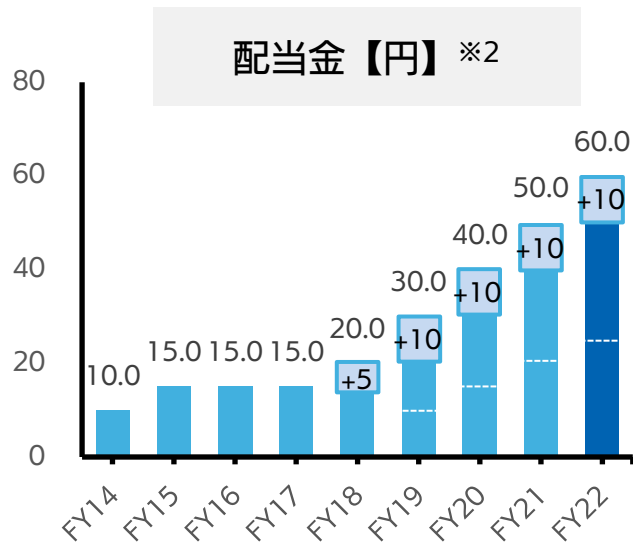
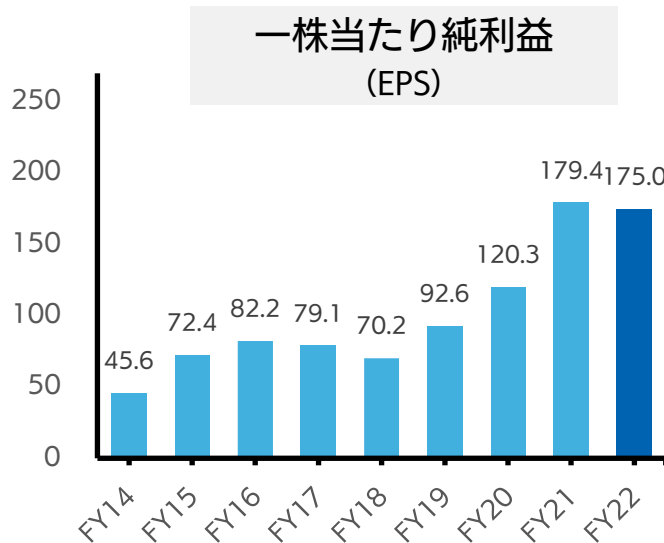
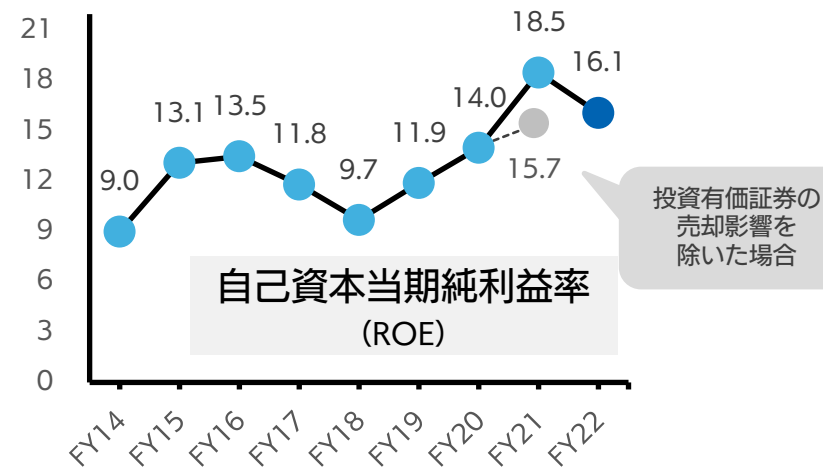
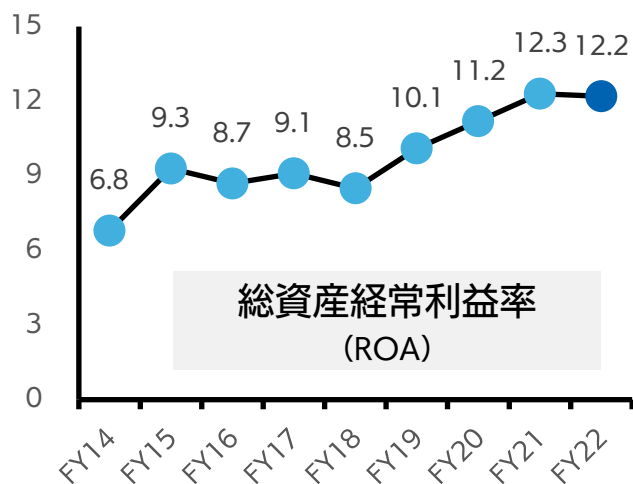
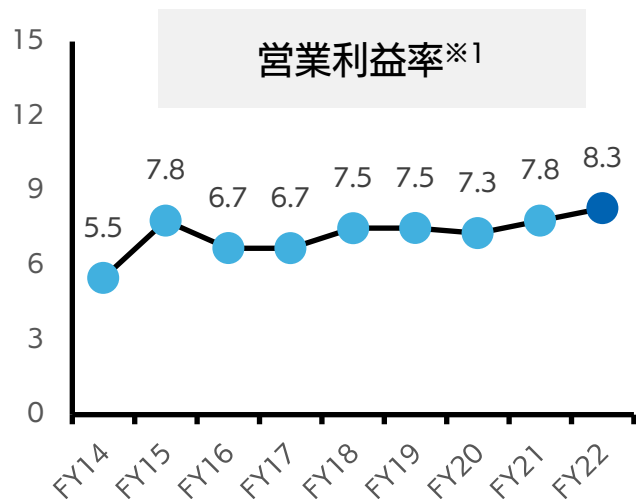
FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23

FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22 FY23

(億円)

※FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

(百万円)	2022/9末	2023/3末	2023/9末	前期末比	前年同期比
流動資産	30,286	35,622	38,092	2,469	7,805
現預金	10,820	8,221	14,568	6,347	3,748
受取手形・売掛金	15,348	24,133	16,882	△ 7,250	1,534
固定資産	9,494	9,842	10,047	205	553
有形固定資産	1,759	1,681	1,389	△ 291	△ 370
無形固定資産	4,298	4,120	3,509	△ 610	△ 788
投資その他の資産	3,436	4,040	5,148	1,107	1,712
総資産	39,782	45,466	48,140	2,673	8,357
流動負債	14,658	18,590	15,885	△ 2,704	1,227
固定負債	1,835	1,708	1,290	△ 417	△ 544
純資産	23,289	25,167	30,963	5,796	7,674



※1：FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、主要な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした際の営業利益率

※2：2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割、それ以前の配当額を調整

会 社 情 報

＝ SB Technology

会社概要

(2023年3月31日現在)

商号 SBテクノロジー株式会社(※)
 所在地 東京都新宿区新宿六丁目27番30号
 事業内容 ICTサービス事業
 設立 1990年10月16日
 資本金 1,270百万円
 従業員数 連結 1,417名 (単体 918名)

(※)2019年10月1日付でソフトバンク・テクノロジー株式会社からSBテクノロジー株式会社に商号変更しております



ISMS認証登録範囲:
 本社、芝大門、天王洲、
 大阪、名古屋、福岡、富山

経営理念

Mission 存在意義

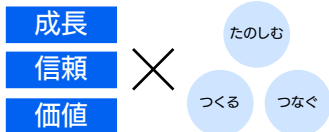
情報革命で人々を幸せに
 ~技術の力で、未来をつくる~

Vision 目指す姿

多様な働き方と挑める環境で先進技術と創造性を磨き、
 社会に新しい価値を提供し続ける

Value 価値観・行動指針

3つの視点
 ×
 3つのアクションで
 多様性を認め合う



役員

(2023年6月19日現在)

取締役

代表取締役社長 CEO 阿多 親市
 取締役 CSO 佐藤 光浩
 取締役 CFO 岡崎 正明
 取締役 藤長 国浩
 社外取締役 鈴木 茂男
 社外取締役 宗像 義恵
 社外取締役 富永 由加里
 社外取締役 宮川 由香
 社外取締役 澤 円

監査役

常勤監査役 上野 光正
 監査役 廣瀬 治彦
 監査役 中野 通明
 監査役 内藤 隆志

執行役員

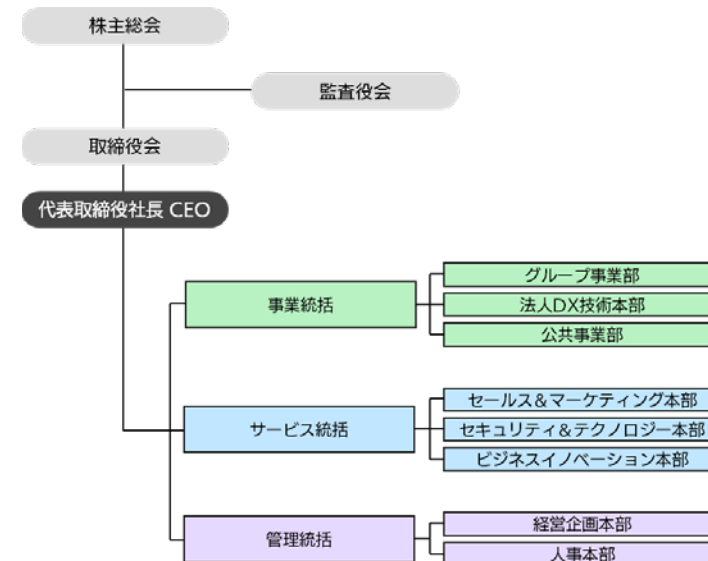
最高経営責任者執行役員 阿多 親市
 副社長執行役員 CSO 佐藤 光浩
 常務執行役員 CFO 岡崎 正明
 常務執行役員 喜多村 晃
 常務執行役員 CIO 渡辺 真生
 上席執行役員 CCO 正岡 聖一
 執行役員 青木 誠
 執行役員 宮澤 拓哉
 執行役員 CDO 金澤 謙悟
 執行役員 CMO 上原 郁磨

役職名英文の正式名称は以下のとおりです

CEO Chief Executive Officer (最高経営責任者)
 CSO Chief Strategy Officer (最高戦略責任者)
 CFO Chief Financial Officer (最高財務責任者)
 CIO Chief Information Officer (最高情報責任者)
 CCO Chief Compliance Officer (最高コンプライアンス責任者)
 CDO Chief DX Officer (最高DX責任者)
 CMO Chief Marketing Officer (最高マーケティング責任者)

組織図

(2023年4月1日現在)



認定・評価

(2023年8月31日現在)



えるぼし



くるみん



令和4年度
 「テレワーク先駆者百選」



2023
 健康経営優良法人
 Health and productivity
 健康経営優良法人2023



DX認定



FTSE Blossom
 Japan Index

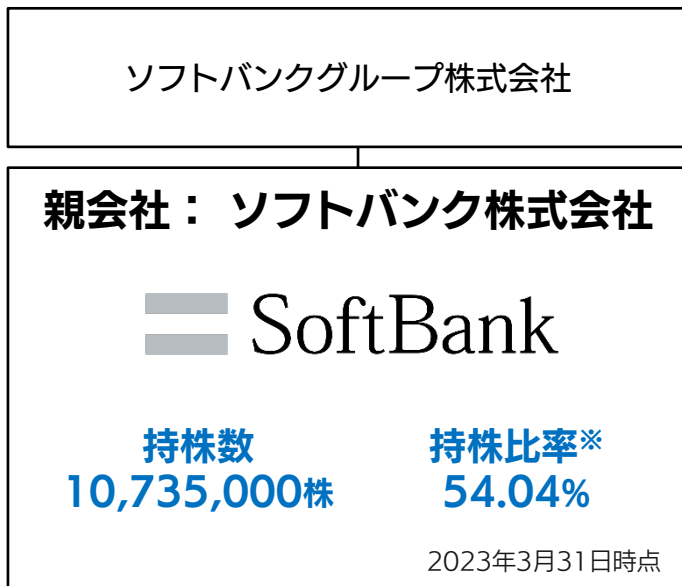


FTSE Blossom
 Japan Sector
 Relative Index

FTSE Blossom Japan
 Index Series



JPX-NIKKEI Mid Small
 2022 - 2023年度選定
 JPX日経中小型株指数



主要な子会社 (従業員数は2023年3月31日時点、代表者は2023年6月30日時点)

	M-SOLUTIONS株式会社 クラウドサービス及びスマートデバイスを中心としたシステムの設計・開発及び保守・運用サービスの提供	代表者： 植草 学 出資比率： 100% 従業員数： 56名
	株式会社 環 クラウドサービスを活用した社内の業務改善・コミュニケーション改革を実現する教育コンテンツの提供	代表者： 青木 沙織 出資比率： 100% 従業員数： 10名
	サイバートラスト株式会社 IoTサービス、OSS/Linuxサービス、認証・セキュリティサービスの提供	代表者： 北村 裕司 出資比率： 58.01% 従業員数： 225名
	リデン株式会社 農業データの活用を促進し、農業成長サイクルの加速を支援するプラットフォームの提供	代表者： 上原 郁磨 出資比率： 82.57% 従業員数： 2名
	株式会社電縁 通信、自治体などを中心としたシステムコンサルティング、Webシステム開発の提供	代表者： 小中 帝宣 出資比率： 100% 従業員数： 76名
	アイ・オーシステムインテグレーション株式会社 情報処理システムの開発及び販売・保守等の提供	代表者： 関口 雅之 出資比率： 100% 従業員数： 27名

※自己株式を控除した議決権ベースでの比率

クラウドとセキュリティで お客様のDX化を支援

ICTサービスビジネス

通信

- オンプレミス（プライベートクラウド含）のシステム構築/運用保守
- クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用
- セキュリティ運用監視サービス 等

エンタープライズ

- クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用/IT教育サービス、AI・IoT・DXソリューション
- セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス、電子認証ソリューション 等

公共

- クラウド移行支援/構築/運用/IT教育サービス、AI・IoT・DXソリューション
- セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス 等

個人

- ノートンストア等のECサイト運営代行 等



国内トップクラスのクラウド導入実績と、マイクロソフトが認める技術力

クラウドサービスが普及し始めた2009年からクラウドビジネスを開始し、エンタープライズ企業を中心にMicrosoft 365の導入、Microsoft Azure環境での構築支援など、クラウドソリューションの導入と運用を行っています。このクラウドソリューションを基盤に、さらなるデータの利活用やDX人材の育成・創出などお客様の課題に寄り添った幅広いDX支援を行っています。

実績

クラウドソリューションの導入実績は1,000社以上に及び、豊富な開発実績とノウハウを蓄積。製造業や建設業などさまざまな業界に向けて支援を行っています。

建設業、製造業、教育機関など
大手企業を中心に多数導入



外部評価

日本マイクロソフトがパートナー向けに行うアワードで10年連続受賞。2023年は、セキュリティ分野の「Defend against threats with SIEM plus XDR」を受賞しました。

マイクロソフト ジャパン
パートナー オブ ザ イヤー



2014年から10年連続受賞

Microsoft Worldwide
Partner Award



日本初の4冠受賞

サービス

clouXion (クラウジョン) は、Microsoft 365 を利活用するための当社のクラウドソリューションブランドです。「働き方改革」の具体的な課題解決のために生まれました。



clouXion 導入実績 **914社**
2023年8月時点



情報セキュリティのトータルソリューションを提供

巧妙化・多様化するサイバー攻撃への対策として、セキュリティ導入支援から、セキュリティシステムの運用監視を行うマネージドセキュリティサービス (MSS)、経験豊富な専門家によるCSIRT※1構築支援、企業の包括的なセキュリティを支援するコンサルティングなど、お客様の重要な情報資産保護や事業継続をサポートする幅広いサービスをワンストップで提供しています。

実績

数百を超えるエンタープライズのお客様にMSSを提供しています。自治体向けには12県405市町村に対して、総務省が推進を行う「自治体情報セキュリティクラウド」の構築・運用、MSSの提供を行っています。



外部評価

SBTのセキュリティサービスを多くの企業・組織にてご利用いただき、国内の各種市場調査において売上シェア1位を獲得しています。



出典：ITR「ITR Market View：エンドポイント・セキュリティ対策型／情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」

出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所「マネージドセキュリティサービス市場の現状と展望 2023年度版」

「Microsoft 365 運用監視サービス」
「SIEM 運用分析サービス／マネージド XDR サービス」市場
ベンダー別売上金額シェア No.1 ※2

「SIEM運用サービス」市場
売上金額シェア No.1 ※3

サービス

セキュリティ監視センターにて、専門のセキュリティアナリストが24時間365日体制でお客様環境のセキュリティシステムやネットワークを監視し、サイバー攻撃や不正アクセスから守るMSSを提供しています。



セキュリティ監視センター

※1 「Computer Security Incident Response Team」の略語で、マルウェア感染や侵入などのインシデントが発生したときに対応するチームを指す。

※2：出典 ITR「ITR MarketView：エンドポイント・セキュリティ対策型／情報漏洩対策型SOCサービス市場2022」ベンダー別売上金額シェア（2021年度）

※3：出典 デロイト トーマツ ミック経済研究所「マネージドセキュリティサービス市場の現状と展望 2023年度版」（2023年6月発行）<https://mic-r.co.jp/mr/02800/>

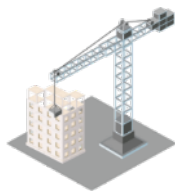


クラウド基盤によるデータ・AIの活用支援をワンストップで提供

2014年からデータ領域のビジネスを開始し、データプラットフォームの構築、BIツールを用いた分析・可視化、AI活用に至るまでクラウド基盤でのソリューションを提供します。導入支援から導入後の内製化、運用サポート等、ワンストップで幅広い支援が可能です。データサイエンティストによるコンサルティングを通じて、お客様のDX化に貢献します。

強み

Azure Machine Learning、Microsoft Power BI等、Azureを用いたクラウド基盤での支援を得意としています。特に製造業を中心に、機械学習を用いたシステムや予測モデルの構築など、データに基づきお客様のビジネスを支援します。



外部評価

データ領域における評価として、マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザイヤー 2021にてPower Apps & BIを受賞。2023年、Dynamics 365やPower Platformでの課題解決の実績が認められ、トップエンジニアアワードを受賞しました。



サービス

社内利用やお客様との実証を通じて、生成AIの回答精度を高めるコア技術を開発。この技術をサービスに反映し、日々の業務で活用できる生成AIサービス「DailyAI」をリリースしました。あらゆるビジネスシーンに必要な機能を兼ね備えた生成AIサービスとして、お客様の生産性向上に貢献します。

DailyAI



情報革命で人々を幸せに ～技術の力で、未来をつくる～

SBTグループは持続可能な社会の実現に向け、
事業・企業活動を通じて、さまざまな社会課題の解決に取り組みます。

基本方針



ICTサービスの提供によるイノベーション創出で、
お客様の価値創造に貢献します。



気候変動対応に向けて、温室効果ガス排出量の削減や
エネルギー効率の向上、水などの資源利用の削減
及び効率化、生物多様性への配慮などに取り組みます。



株主の期待に沿えるよう、成長への挑戦を忘れず、
透明で公正な情報開示をします。



次世代育成、情報セキュリティの強化、
災害対策・復興支援などを通じて、
豊かな情報化社会の実現に貢献します。



従業員のやりがいと誇り、個性がいかされ、
性別や年齢、国籍等にとらわれない、平等で多様性
に富み、チャレンジできる環境を大切にします。



国際規範や各種法令・ルールを遵守し、
誠実な事業活動を行います。



汚職や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止し、
取引先との公正な取引関係を築きます。



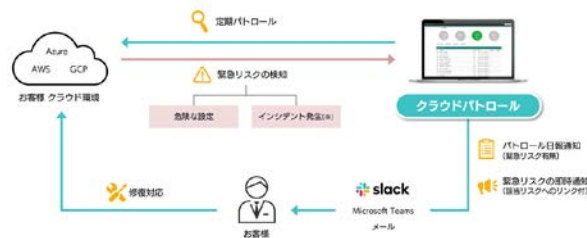
2023/08/01 自社サービスの総合ブランド「NOZ」を発表



自社で展開するサービスを総合するブランド「NOZ（ノズ）」を発表し、ブランドサイトを公開しました。第一弾となる「NOZ SECURITY」は、サイバーリスクを早期発見・対処し、企業の事業継続を支援するマネージドセキュリティサービスを中心に11のサービスを展開します。今後、クラウドサービス等もNOZのサービスにラインアップする予定です。SBテクノロジーは、NOZを通じてお客様のビジネスを力強く支え、“変化”を体現する存在として、新たな価値を創出してまいります。

ブランドサイト：<https://www.softbanktech.co.jp/noz/>

2023/08/21 Microsoft Azureをはじめとしたクラウド保護サービス「クラウドパトロール」提供開始



インシデント発生が疑われるアラートに関しては、本サービスを通じてMicrosoft Defender for Cloudの検出機能の活用が必須となります。
※ 対応クラウドサービス：Microsoft Azure (Azure) / Amazon Web Services (AWS) / Google Cloud Platform (GCP)
©2023. 2023年8月21日より提供開始。

クラウド環境において不正アクセスや情報漏洩につながる設定不備やインシデントを検知・通知するクラウド保護サービス「クラウドパトロール」を2023年8月21日より提供開始しました。

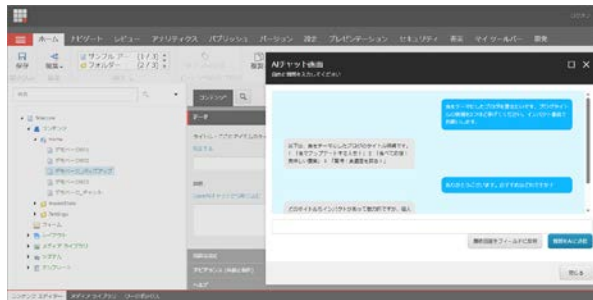
本サービスは、インシデント発生につながる設定不備やインシデント発生が疑われるアラートの監視・通知を行うものです。監視は60分毎に自動で定期パトロールを行い、新たなリスクを検知する度に通知します。迅速な対応が求められるアラートのみを抽出して通知するため、優先度の低いアラートに埋もれることなくリスクを早期発見することが可能となります。さらに、意図しないポート開放など高リスクな設定を検知した場合、自動で設定変更も可能です。

2023/08/22 「JPX日経中小型株指数」 構成銘柄へ継続選定



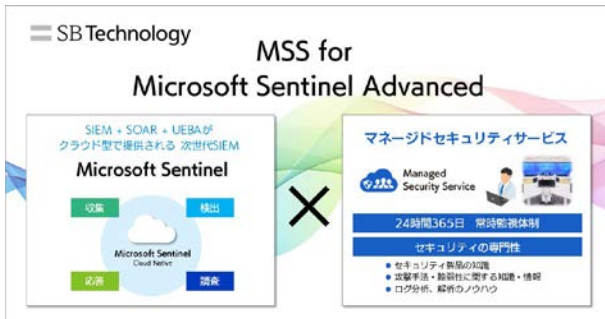
JPX総研および日本経済新聞社が共同で算出を行う「JPX日経中小型株指数」において、2023年度（2023年8月31日～2024年8月29日）の構成銘柄として、2022年度に引き続き選定されました。SBTは「情報革命で人々を幸せに ～技術の力で、未来をつくる～」の経営理念の下、事業・企業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指しています。2022年よりサステナビリティに対する活動を強化し、6つのマテリアリティの特定や、ESGデータの開示、2030年度カーボンニュートラル宣言、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同と開示などに取り組んでまいりました。今後も、事業・企業活動を通じてサステナビリティ推進を強化し、持続可能性と企業価値の向上を目指してまいります。

2023/09/07 エンタープライズCMSの Sitecore に生成AI機能を追加し提供開始



CMSソリューションサービス「Sitecore on Cloud」において、生成AIを利用できるAI連携機能を有償にて提供開始しました。この機能により、Sitecore の編集画面上で生成AIと対話でき、作成したい情報について指示することで最適なコンテンツを生成できます。本機能の提供を通じて、Web担当者のコンテンツ作成業務の負荷を大幅に削減し、将来的には部分的な業務効率にとどまらず、AIによる一気通貫したコンテンツ作成支援の提供を目指してまいります。

2023/09/20 インシデントの早期検知や初動対応を支援する「MSS for Microsoft Sentinel Advanced」を提供開始



クラウドSIEMソリューション「Microsoft Sentinel」を活用した、インシデントの早期検知や初動対応を支援する「MSS for Microsoft Sentinel Advanced」を、2023年9月20日より提供開始しました。本サービスは、お客様が利用されている様々なセキュリティ製品のログやアラートを「Microsoft Sentinel」に収集・統合し、自動監視と24時間365日体制で有人監視を行うサービスです。検知したアラートについて、SBTのセキュリティアナリストが確認・分析を行い、インシデントの早期検知や対策案を通知します。インシデントを検知するための分析ルールは、サービス導入後も継続的にSBTが調整を行うことで、お客様の環境に応じた最適な状態を維持します。

2023/09/27 協和キリンと実証、回答精度を向上させるコア技術を搭載した生成AIの導入支援を開始



企業や自治体のお客様向けに、生成AIの導入支援を開始しました。本導入支援は、Azure OpenAI Service を活用し、外部ネットワークから切り離されたセキュアな生成AIの利用が可能となっており、加えてSBテクノロジーが開発した回答精度を向上させるコア技術により、様々なビジネス用途において業務効率化を実現します。回答精度を高めるコア技術は、自社内の利用や複数企業様との共同実証を通じて得られたノウハウが反映されたものとなります。本共同実証に協力いただいた協和キリン株式会社において、研究開発本部内で行った研究関連文書・規則等の検索用途にてコア技術の有用性を確認しました。

2023/10/23 日々の業務で活用できる生成AIサービス「DailyAI」を11/1より提供開始



「DailyAI」は、お客様が日々業務で生成AIを活用し、生産性向上を実現するために生まれたサービスです。さまざまな質問に対して自然な対話で回答する一般的な生成AIの利用はもちろんのこと、お手持ちのExcel、Word、PDF等の特定のファイルに対して分析や要約等の指示を行うことができます。今後、手持ちのデータだけではなく、各種クラウドストレージに格納された社内の大量のドキュメントに対しても、適切な検索結果に導く新たなプランも提供予定です。今後もさまざまな機能を拡充していき、あらゆるビジネスシーンに必要な機能を兼ね備えた生成AIサービスとして、お客様の生産性向上に貢献してまいります。

2023/10/26 マイクロソフトの上位認定資格である Specialization「Threat Protection」を取得



マイクロソフトのソリューションパートナーの中でも、高度な専門性を有するパートナーに与えられる「Specialization」において、「Threat Protection（脅威からの保護）」を取得したことをお知らせします。Threat Protectionは、企業におけるさまざまなセキュリティの脅威に対して、Microsoft Threat Protection、Microsoft Defender for Cloud Apps、Microsoft Sentinel の構築・導入において、深い知識と豊富な経験・実績が認められた企業に与えられる称号です。今後もセキュリティソリューションの提供を通じて、お客様の情報資産の保護や事業継続を支援してまいります。

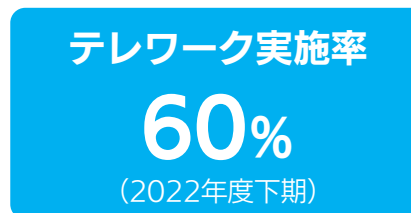
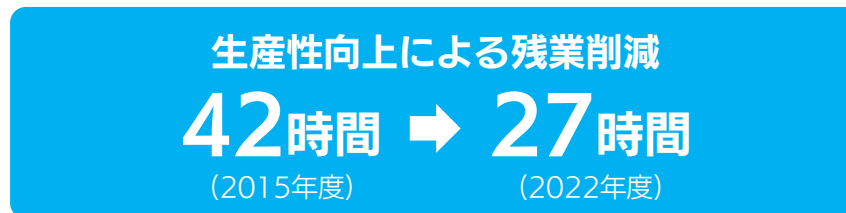
数字で見るSBテクノロジー

※ (連結)の記載がない項目はSBテクノロジー単体の指標となります。
 ※ 期間の掲載がない項目は2023年3月末時点のものです。

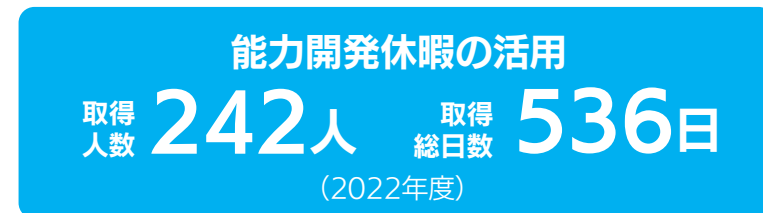
働く人



働き方



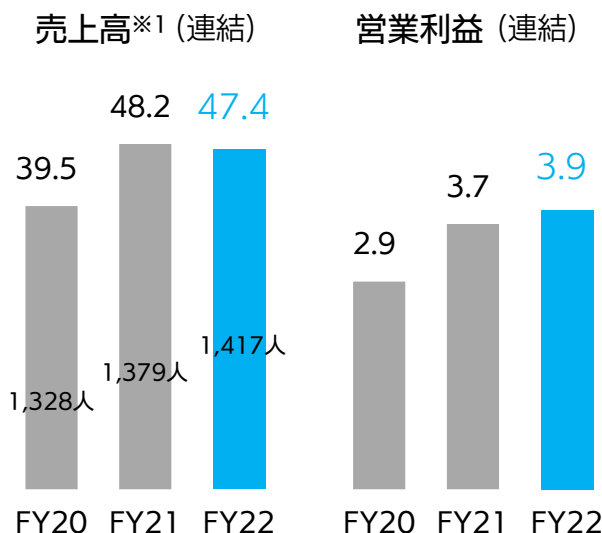
成長支援



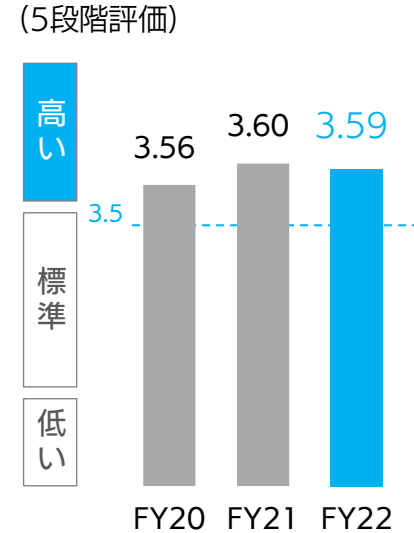
技術人員



社員1人あたり指標 (百万円)



社員総合満足度 (5段階評価)



PMP (Project Management Professional)
 幅広い知識とプロジェクトマネージャーとしての実務経験が求められるプロジェクト管理の国際標準資格。SBテクノロジー技術社員の約2割が保有。

CBAP (Certified Business Analysis Professional)
 5年以上の経験豊富なビジネスアナリシス実務経験者を認定する資格試験。

当社社員が働くうえで重視する指標の1位は「**やりがい**」。アンケートではやりがいに関する各指標が例年高水準。

※1 FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

資料留意事項

1. 本資料に記載した各種グラフ内に表示している数値については、その端数処理の関係から、各種グラフ内の数値と決算短信に記載した数値に乖離が出ている場合があります。
2. 2022年3月期より「新収益認識に関する会計基準」を適用しており、2021年3月期以前の売上高については主な影響であるノートンビジネスを過去から純額表示にした未監査の参考値を記載しております。

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、及びその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々なリスク及び不確実性が内在しています。実際の業績等は経営環境の変化等、様々な要因により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料は当社グループの業績や事業進捗等に関する情報提供を目的としており、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。

情報革命で人々を幸せに

～ 技術の力で、未来をつくる ～

＝ SB Technology